

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 第1回 長岡市障害者施策推進協議会
2 開催日時	令和5年6月12日（月曜日） 午後2時から午後3時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 阿部委員 五十嵐委員 岡村委員 加藤委員 菊池委員 近藤委員 田中(晋)委員 田中(春)委員 棚橋委員 土田委員 沼田委員 長谷川委員 藤田委員 本田委員 目黒委員 八子委員 米山委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長 福祉課長ほか関係職員 福祉総務課長ほか関係職員 子ども家庭センター副所長 保育課長 学校教育課長 長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	(委員) 柴野委員 山口委員
6 議題	<p>(1) 第6期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第2期障害児福祉計画の進捗状況について</p> <p>(2) 第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障害児福祉計画の策定について</p> <p>(3) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容

福祉課長補佐	○開会 ・欠席委員報告
福祉保健部長	○福祉保健部長あいさつ 日頃から、長岡市の福祉施策をはじめとした様々な場面でご協力をいただき厚くお礼を申しあげる。 また、このたびは、長岡市障害者施策推進協議会の委員をお引き受けいただき、深く感謝する。 本協議会委員の任期は令和5年4月1日から令和8年3月31日までの3年間となる。特に今年度は、次期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に伴い、本日を含めて3月までに4回の会議を予定している。 計画策定は、国の方針に基づき定められるものではあるが、やはり長岡市としては、「誰もが健やかで元気に、安心して暮らせる地域共生社会の実現」ということで、支援が必要な方のニーズにお応えできているか、サービスは提供できているかという点に今一度立ち返り、市の様々な計画との調和も図りながら、作業を進めていきたいと考えている。 そのためには、委員の皆様をはじめ、より多くの皆さまからご意見をいただくことが大切だと思っているため、忌憚のないご意見をお願いしたい。 簡単ではあるが、会議にあたってのあいさつとさせていただきます。本日は、よろしくお願いしたい。
福祉課長補佐	○委員紹介 ○配布資料の確認等
福祉課長	○長岡市障害者施策推進協議会の概要について (資料No. 1-1～1-3をもとに説明)
委員	書面会議の実施の1「やむを得ない理由により会議を開催できない」の部分「やむを得ない理由により対面による会議を開催できない」に修正した方がよいと思う。また、コロナ禍等により、書面だけでなくオンライン会議等も増えているため、「書面による会議」の部分「書面等による会議」に修正するとよいと思う。

<p>福祉課長</p>	<p>事務局で再度検討させていただく。</p> <p>○委員長、副委員長の選任について (資料 No. 1 - 1 をもとに説明) ※委員から委員長と副委員長を推薦する提案があり、委員から承認を得た。</p>
<p>委員長</p>	<p>○委員長あいさつ 今回は、次期計画策定に向けた第 1 回目の会議となる。委員の皆さんと、そして事務局の皆さんと一緒に、1 つの計画を作り上げていきたいと思っているため、よろしく願いしたい。</p>
<p>副委員長</p>	<p>○副委員長あいさつ 委員長をサポートしたいと思うので、皆さんのご協力をよろしく願いしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>○会議の傍聴・公開についての確認 ※傍聴者がいないことを確認。</p> <p>○議題 (1) 第 6 期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第 2 期障害児福祉計画の進捗状況について、事務局から説明願う。各課の主要事業を中心にポイントを絞って、説明願う。質問は、説明後一括で受ける。</p>
<p>■担当課より説明 (福祉総務課長) (福祉課長) (子ども家庭センター副所長) (保育課長) (社会福祉協議会事務局長)</p>	<p>(資料 No. 2 - 1 ~ 2 - 5 をもとに説明)</p>

委員長	<p>ただ今の説明に対し、質問や意見等はあるか。</p>
委員	<p>細部に渡っての質問かもしれないが3点お願いしたい。</p> <p>1点目。資料No. 2-1 主要事業実施状況の整理番号1「すこやか・ともしびまつり」について。具体的な報告はなかったが、福祉関係者の参加者が大変多いと思う。すこやか・ともしびまつりの目的は、福祉に関する理解を進めていただきたいということだと思う。そこで、福祉関係者の参加が多いのは理解できるが、果たして一般の参加者というか、福祉関係者以外が、どのくらいいるのかが大変興味がある。今すぐ数字は出ないかと思うが、この辺を検討いただき、今後すこやか・ともしびまつりの主要な目的である、福祉関係者と一般の皆さんとの交流をどう進めていくかということに重点を置きながら、是非進めてほしいと思っている。あまり多くないとは思っている。</p> <p>2点目。同じ資料の整理番号7「福祉読本の作成配布」について。説明の中に、障害者に対する思いやり、助け合いの心を育成すると随所に書いてある。この思いやりや助け合いというのが、障害当事者としては、実は大変違和感がある。果たして、障害者が、その思いやりや助け合いの対象なのだろうかということ。障害者イコール思いやりが必要というふうに受け取れる文書であり、市当局が障害者は思いやりの対象であると考えているのであれば、もう少し勉強を進めていただきたいと思う。国連の障害者権利条約で、日本は2014年に批准したが来年がちょうど10年に当たる。これは余談だが、これにあたって来年何かイベントでもやっていただければと思う。この権利条約の中には、障害者に対しては、温情主義や人道主義、優生思想と決別をし、自己決定と自立の権利を有するというふうに書いてある。思いやりという言葉は、温情主義に繋がる気がして、必ずしも障害者を通じて、思いやりや助け合いの心をはぐくむ必要があるのかと思う。思いやりや助け合いの心は、まだまだ別に育むところがあるのではないかと。もしここで書く場合、障害者の教育の場であれば、インクルーシブ教育とか、障害者の権利とか、障害者の自立をもっと図るような中でお互い対等であるということをお互いに教えていくことが大事だと思う。どうしても、思いやりという言葉に、私自身は抵抗がある。</p> <p>最後3点目。同じ資料に、体験学習の機会も提供とあるが、</p>

	<p>これはおそらく、視覚障害者であれば目隠しをして歩いてみたり、聴覚障害であれば聞こえなくして交流やコミュニケーションをとってみるということだと思う。これはこれで大事であるが、時々この体験学習の後に、対象の小学校3年生向けに講話をする機会が大変多く今後も大島小学校や深沢小学校で行う。障害当事者による講話の機会、私自身は、まちの先生と呼ばれて訪問するが、これはもしかしたら福祉に包含されてもいいのではないかと、障害当事者の話を聞く機会を設けてもいいのではないかと考えている。感想を聞くと、大変だというものが多。このような機会、より理解を深めていくのもよいと思う。</p>
委員長	<p>非常にポジティブなご意見をいただきありがたい。事務局いかがか。</p>
福祉総務課企画係長	<p>貴重なご意見をいただきありがたい。現時点で説明できる場所として、「すこやか・ともしびまつり」の部分と「福祉読本」の部分をお話しさせていただく。</p> <p>まず、すこやか・ともしびまつりについて。来場者数は、2日間で7,500人。今、資料を持っていないため正確な数字ではないが、そのうちの約7割から8割が、親子の方々である。ここに書かれている実績や評価の説明の他に、すこやか・ともしびまつり実行委員会の目的として、親子などに福祉や健康、医療関係を知ってもらうきっかけになる体験イベントを実施するということがある。平成29年度から、そのような体験イベントが非常に多くなり、来場者の7割以上が親子になっているというのが現状である。</p> <p>次に、福祉読本について。確かに障害者という中では、ご指摘のとおりかと思う。ただ、現状では、この福祉読本の内容が、高齢者や妊婦をはじめとした、様々な方への思いやりも含めて書かれているため、この表現となっている。だが、障害者の理解を深めていくには、ご指摘のとおりかと思うため、そのあたりも含めたものが、福祉読本の内容になっていることがわかるような表現を今後していきたいと思う。</p>
委員長	<p>福祉読本は、本日編集委員の皆さんもいるため、そのあたり</p>

<p>委員</p>	<p>の趣旨も鑑みながら、今後の編集をしていただければと思う。</p> <p>先ほどと同じ項目になるが、2点お願いしたい。まず福祉読本について。これは、非常によくできていると思っている。ただ評価のところで、9割の小学校の活用とある。絶対活用する必要があるわけではないと思うが、活用しなかった小学校では、どのような理由なのかはちょっと疑問としてあるため、わかればお答えいただきたい。</p> <p>次に2点目、整理番号2「ともしび運動ポスター展」について。これは小学生の方が非常に多く、福祉に興味を持ってもらい、その効果が上がっていると思うが、中学校が12点の応募の中で、果たして期待された評価になっているか疑問が残る。</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>福祉読本とともしび運動ポスター展について、現時点でわかる範囲になるが、まず、福祉読本を活用していない理由について。詳細は不明だが、先生方が翌年の指導計画を立てる際に、たまたま時期があわなかったりメニューに入らなかったというだけで、それが使いにくいというわけではないと思っている。</p> <p>長岡市社会福祉協議会が実施している整理番号8の「長岡市社会福祉協力校指定事業」では、全校が取り組んでいるため、別な形で活動されていると理解している。</p> <p>ともしび運動ポスター展については、ご指摘のとおり、やはり中学生の応募点数が非常に少ない状況。小学生が多い理由は、実は募集を既にこの時期にかけており、夏休みの宿題として学校が取り組むことが多いことによる。そのため、小学生に関しては、全学年や全クラスの児童が一斉に応募してくる学校もある。これもまた、長岡市社会福祉協議会が取り組んでいる「長岡市社会福祉協力校指定事業」の活動の一環として、このポスター展を利用しているところで、これだけ小学校が増えていると思う。中学校に関しては、今後、どのようなPR方法がよいかも検討しながら、増えていくように進めていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>3点お願いしたい。1点目は、資料No. 2-1 主要事業実施状況の整理番号10「乳幼児健康診査事業」について。乳幼児健診の実施数は出ているが、項目としては早期発見ということ。事業概要にある発達の遅れや障害の早期発見について、1</p>

<p>委員長</p>	<p>歳半や3歳児健診の場合に、相談や精密検査などに概ね何%くらいのお子さんがあるのか教えていただきたい。</p> <p>2点目は、整理番号31「相談サービスの充実」について。現状、市内には相談事業所が5箇所あり、相談対応件数が約1万件ある。そして相談支援専門員は11人で、1人当たりの相談件数がかなりある。自立支援協議会では、人手不足について検討しているという説明があった。このような状況の中で、相談事業所を増やしてほしい。また、これは事業所、企業の考え方になるが、相談員が定期的に人事異動で変わってしまう。相談専門員は、高い専門の知識が必要と思っている。そして、様々な場面で各機関との調整役も担っているにも関わらず、3年ぐらいで異動してしまう。せつかく、相談専門員として身に付けた専門の知識が異動することで、今まで関わっていた障害者にも不利益である。相談専門員が同じ事業所で長く働くことができるようお願いしたい。</p> <p>3点目は、実績等説明及び評価のところ、実績、評価ときて課題はないのか。なぜかと言えば、その課題が次期計画に反映されるのではないのか。これまでもずっとそうだが評価しか出てこない。口頭では必ず課題を説明されている。ならば、項目として課題というのも取り上げるべきではないかと思う。</p> <p>相談事業所、相談するところを増やせないものか。そして、そのスタッフの定着性。また、実績、評価から見えてくる課題とは何か、それが次に結びつくのではないだろうかというご意見があった。事務局いかがか。</p>
<p>福祉課長</p>	<p>1点目については、本日担当課が出席してないため、後ほど回答させていただく。</p> <p>2点目の相談支援事業所については、市内5箇所に分けた地区担当制が、まだ始まって数年になる。相談支援事業所を増やせば、相談員がそれに比例して増えるかどうかは、この場でお答えできないが、まずは今ある5箇所の地区担当制で、課題を抽出して検証・検討していきたい。</p> <p>3点目の次期計画に向けた課題については、次回以降の協議会を運営する中で、明確にして提示したいと考えている。</p>

委員	<p>3点目の回答について。そういうことではなく、次期計画に向けての課題もあるが、資料No. 2-1の実績等説明及び評価の部分に「課題」という項目を入れられないのかということをお願いだけ。何か事業をやるには、必ず課題があるのではないか。その課題が翌年の評価に繋がるのではないかと思うため、項目を1つ増やすことができないのかということが言いたい。</p>
福祉課長	<p>ただ今の意見を受け止め、今後検討する。</p>
委員長	<p>今後に生かせるものがあったら進めていきたいと思う。</p> <p>議題(2)第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障害児福祉計画の策定について、事務局から説明願う。</p>
福祉課長	<p>(資料No. 3-1～3-2をもとに説明)</p>
委員長	<p>令和5年度に令和6年度から8年度までの次期計画を策定すること、これまで同様各種計画を一体的に策定するという説明があった。また、策定に向けて本日は第1回目の協議会となるが、今後、第2回、第3回、そしてパブリックコメントを実施し、第4回で最終案を検討、最後3月の下旬に計画を策定し議会に報告する流れとなる。</p> <p>また、長岡市障害者生活実態調査などの結果から見えてくる課題についても、次期計画に盛り込んでいくということになる。</p> <p>ただ今の説明に対し、質問や意見等はあるか。特になければ、国の基本計画や基本指針が挙げたため、これを踏まえて、次回以降の計画の検討を進めていきたいと思う。</p> <p>では(3)その他だが、特にないとのため、進行を事務局にお返しする。</p>
福祉課長補佐	<p>○閉会(事務局より事務連絡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回会議日程 ・議事録の内容確認及びホームページへの掲載
8 会議資料	別添のとおり